

〔別 紙〕

様式 1

00594

事業報告書

(自 令和4年3月1日 至 令和5年2月28日)

1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人静巖堂医院

① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)

② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
☒ その他

③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 愛知県新城市副川字大貝津13番地

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 昭和 平成 令和2年2月6日

(4) 設立登記年月日 昭和 平成 令和2年2月13日

(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長		
理 事		
同		
同		
同		
同		
同		
監 事		
同		
評 議 員		
同		
同		

注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第47条第1項参照)

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第49条の4参照)

2 事業の概要

- (1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
診療所	静巖堂医院	愛知県新城市副川字大貝津13番地	なし

- 注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を[]書で記載すること。
3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

- (2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
居宅介護支援事業 医療法人静巖堂医院 居宅介護支援事業所	愛知県新城市副川字大貝津13番地	
認知症対応型共同生活介護事業 グループホーム 好日庵	愛知県新城市副川字大貝津13番地	2ユニット

- 注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

- (3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考

- (4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和4年4月28日 令和3年度決算の決定

令和5年2月28日 令和5年度の事業計画及び収支予算の決定

注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

注) 医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。

医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

注) 1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。

2. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入総額及び償還期間を記載すること。

なお、契約書又は債権証書の写しの添付に代えても差し支えない。

(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

該当なし

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

該当なし

(9) その他

該当なし

法人名 医療法人 静巖堂医院

※医療法人整理番号 00594

所在地 愛知県新城市副川字大貝津 1 3 番地

(※ 上記は記載する必要なし)

貸 借 対 照 表
(令和5年2月28日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	164,070	I 流 動 負 債	30,020
現金及び預金	128,338	支払手形	0
事業未収金	32,533	買掛金	1,617
有価証券		短期借入金	15,937
たな卸資産	1,732	未払金	3,859
前渡金		未払費用	6,534
前払費用	875	未払法人税等	183
繰延税金資産		未払消費税等	908
その他の流動資産	592	繰延税金負債	
II 固 定 資 産	123,169	前受金	
1 有 形 固 定 資 産	19,454	預り金	982
建物	16,591	前受収益	
構築物	94	引当金	
医療用器械備品	348	その他の流動負債	
その他の器械備品	2,177	II 固 定 負 債	3,143
車両及び船舶	1	医療機関債	
土地	0	長期借入金	
建設仮勘定	0	繰延税金負債	
その他の有形固定資産	243	引当金	0
2 無 形 固 定 資 産	445	その他の固定負債	3,143
借地権	0	負債合計	33,163
ソフトウェア	395	純 資 産 の 部	
その他の無形固定資産	50	科 目	金 額
3 その他の資産	103,270	I 出 資 金	49,100
有価証券	65,524	II 積 立 金	204,976
長期貸付金		積立金	0
保有医療機関債		繰越利益積立金	204,976
その他長期貸付金	0	III 評 価 ・ 換 算 差 額 等	0
役職員等長期貸付金		その他有価証券評価差額金	
長期前払費用	32	繰延ヘッジ損益	
繰延税金資産			
その他の固定資産	37,714	純 資 産 合 計	254,076
資 産 合 計	287,239	負債・純資産合計	287,239

- (注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。
2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。
3. 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

法人名 医療法人 静巖堂医院

※医療法人整理番号 00594

所在地 愛知県新城市副川字大貝津13番地

(※ 上記は記載する必要なし)

損 益 計 算 書
(自 令和4年3月1日 至 令和5年2月28日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		180,569
2 事業費用		
(1)事業費	86,531	
(2)本部費	82,139	168,670
本来業務事業利益		11,899
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		88,681
2 事業費用		85,743
附帯業務事業利益		2,938
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		0
2 事業費用		0
収益業務事業利益		0
事業利益		14,837
II 事業外収益		
受取利息	1	
その他の事業外収益	7,142	7,143
III 事業外費用		
支払利息	117	
その他の事業外費用	8,924	9,040
経常利益		12,940
IV 特別利益		
固定資産売却益	0	
その他の特別利益	0	0
V 特別損失		
固定資産売却損	0	
その他の特別損失	14,191	14,191
税引前当期純利益		△ 1,251
法人税・住民税及び事業税		391
法人税等調整額		
当期純利益		△ 1,642

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。

2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

決算様式2

法人名 医療法人 静巖堂 医院
所在地 愛知県新城市副川字大貝津 1 3 番地

※医療法人整理番号 00594

財 産 目 録
(令 和 5 年 2 月 28 日 現 在)

1. 資 産 額 287,239 千円
2. 負 債 額 33,163 千円
3. 純 資 産 額 254,076 千円

(内 訳) (単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	164,070
B 固 定 資 産	123,169
C 資 産 合 計 (A + B)	287,239
D 負 債 合 計	33,163
E 純 資 産 (C - D)	254,076

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式5

法人名 医療法人 静庵堂医院
所在地 愛知県新城市副川字太貝津13番地

※医療法人整理番号

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業の内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員	原田 直太郎	医師	当法人理事長、 資金の質借	資金の借入 (注2)	3,242	短期借入金	15,937

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(注) 2. 利息、期限、返済金額については双方協議のうえ決定している。(利息0.8%は三菱UFJ銀行の利率を参考に決定している。返済期限2027年3月とし、毎月312,500円を返済している。)

00594

〔決算様式6〕

監 事 監 査 報 告 書

医療法人 静 巖 堂 医 院
理 事 長 原 田 直 太 郎 殿

私は、医療法人静巖堂医院の令和4会計年度（令和4年3月1日から令和5年2月28日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和5年 4月30日

医療法人 静巖堂医院

監 事 伊 藤 泰 三